

県内最大の弓道場が完成! 多久市緑が丘弓道場

特集

「SAGA2024国民スポーツ大会」弓道競技を開催する多久市に弓道場が誕生しました。近的・遠的を備えた県内最大の弓道場をご紹介します。



屋根付きの観覧席を設置



広々としたミーティングルーム



県産杉の香りとぬくもりが感じられる内装

2024年に佐賀県で開催される「SAGA2024国民スポーツ大会」（以下、国スポ）において、多久市は、弓道とスポーツクライミングの2競技を行います。そのうち弓道競技会場になる「多久市緑が丘弓道場」が北多久町の緑が丘小学校跡地に完成しました。

弓道競技には「近的」と「遠的」の2種類があり、国スポでは両方の競技ができる会場が必要です。

これまで県内には、全国大会規模の試合を開催できる弓道場がなかったため、国スポに合わせて、昨年1月から建設を始め、この4月にオープンすることとなりました。

緑が丘弓道場の最大の特徴は、屋根付きの広々とした近的と遠的の射場で雨天時も利用できるようになっていることです。さらに近的の射場には142人が座れる観覧席を完備しました。これほど観覧席が広い弓道場は九州でも珍しく、間近で競技を観覧することができます。

弦を張る際に使う弓張板を備えています。

2mを越える弓を置く専用の台を設置しています。

建物の随所にこだわりがあり、弓を持って移動しやすいように、玄関をはじめ建物内は十分な高さがあります。大会運営に必要な役員控室、ミーティングルームを備え、さらにナイター設備を完備したことによって夜の練習も可能になり、いつでも練習に専念できる環境が整いました。

また、天井や壁には県産杉を使い、廊下の床板は足袋で程よいすり足ができるような木材を採用。設計に関しては県や市の弓道連盟、関係者で話し合いを重ね、競技者のことを第一に考えた施設となっています。

今後、多久市では弓道大会の誘致や、弓道体験教室を開くなど、市民のみなさんのスポーツへの関心を高め、国スポの機運醸成と競技力向上、健康増進を図っていきます。